

平成31年4月吉日

関係各位

## 産学官連携推進シンポジウムの開催について

我が国の森林は、現在、育成の時代から主伐・再造林と資源の持続的な利用に基づく循環の時代へ大きく転換しつつあります。このような中で、大型木造建造物の建設や木材の土木事業への利用推進等、新たな木材需要の拡大に強い期待が寄せられております。また、地球温暖化やマイクロプラスチックによる海洋汚染問題を解決するために、エネルギーや素材原料を化石資源からバイオマスへと変換していくことが早急に求められています。国際連合が持続可能な開発目標 **Sustainable Development Goals (SDGs)** を打ち出したのも、このような状況への対応を促すことが目的となっていることは周知のとおりです。

このたび、(一社)日本木材学会は適切な木材利用を推進することにより、地球環境に優しい持続的な社会を構築することを目指した「地球環境行動指針」を発信することとなりました。そこで、気候変動と **SDGs** 関連分野でご活躍の著名な専門家をお迎えし、別紙に示しますようなシンポジウムを企画いたしました。今後、木材学会は関連学協会と連携して、森林の持続的 management と木材需要の拡大に向けた活動をさらに推進して参りたいと考えています。

関係各位におかれましては、お忙しい日々かとは存じますが、以上の趣旨をご理解いただき、何卒、ご参集を賜りたくお願い申し上げます。

(一社)日本木材学会 会長 福島 和彦  
産学官連携推進担当 副会長 船田 良

別紙

【会合名】産学官連携推進シンポジウム

「地球環境保全に貢献する森林・木材利用 ～新時代の幕開け～」

【主催】(一社) 日本木材学会

【後援】林野庁、(公社) 日本木材加工技術協会、(公社) 日本木材保存協会、  
(一社) 日本森林学会、(公社) 土木学会、(一社) 日本建築学会 (予定)

【開催日】2019年5月14日(火) 13:20 – 17:35

【会場】東京大学農学部 弥生講堂・一条ホール

(東京都文京区弥生 1-1-1 <<https://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/map.pdf>>)

【プログラム】

13:20-13:30 開会挨拶

主催者挨拶 日本木材学会会長 福島 和彦

来賓挨拶 林野庁長官 牧元 幸司 氏 (予定)

13:30-14:50 : 基調講演

講演①「気候変動リスクと『卒炭素』への道」

江守 正多 氏 : (国研) 国立環境研究所 地球環境研究センター/副センター長

講演②「SDGs とパリ協定 一脱炭素化に向けた変革と政策ニーズ」

高村 ゆかり 氏 : 東京大学 サステイナビリティ学連携研究機構 教授

14:50-15:10 : 休憩

15:10-17:30 : パネル討論「持続的社会構築のために、今できること」

話題①「街を森にかえる『環境木化都市の実現 (W350計画)』」

中嶋 一郎 氏 : 住友林業(株) 理事 筑波研究所長

話題②「バイオマス利用の新たな切り札 ～リグニン～」

山田 竜彦 氏 : (国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所 新素材研究拠点長

話題③「鉄鋼業から見た林業・木材産業の生産・物流管理についての考察」

平川 泰 氏 : 新日鉄住金ソリューションズ(株) 社会公共ソリューション事業部 技術企画部 事業企画グループリーダー

話題④「(一社) 日本木材学会の取組み ～地球環境行動指針～」

恒次 祐子 : 日本木材学会環境委員長/東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授

総合討論

話題提供者+基調講演者、コーディネーター : 福島 和彦

17:30-17:35 : 閉会挨拶 日本木材学会副会長 船田 良

【シンポジウム参加費】一般 1,000 円、学生 無料

【交流会】17:45-19:30 (於 弥生講堂ホワイエ) 交流会参加費 : 4,000 円

【参加申込】別添申込書にて、日本木材学会事務局まで E-mail 添付にて  
お申し込み下さい。 <申込期限 : 2019年4月25日(木)>